maiko violin
藤本一馬 guitar
坂井紅介 contrabbass

2023 12月09日（土）
開場　19:30　night live
開演　20:00
（2ステージ入替無）（1drink=600）
MC=3700＋2drinks order

CAFE BEULMANS
世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城２F
03-3484-0047
mail : info.cafebeulmans@gmail.com
メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。

藤本一馬

1998 年ヴォーカルのナガシマトモコとのデュオ、orange pekoe を結成。2002 年 1st 作 «Organic Plastic Music» で幅広い支持を獲得。その後も国内はもとよりアジア各国や北米でも活動を展開。2011 年ソロ名義での 1st アルバム «SUN DANCE»(BounDEE by SSNW) をリリースし、雄大な自然からの着想、自己の内面を投影した叙情的なオリジナル楽曲もとに、アコースティックな響きと空間的余韻を内包したインストゥメンタル音楽を展開。ジャズやクラッシク音楽だけでなくワールドミュージックリスナーなど幅広い支持を得る。その後もカルロス・アギーレ (pf) やアンドレ・メマーリ (pf)、シルビア・イリオンド (vo) 等をフィーチャーしたソロ名義作 «Dialogues» (NRT)、«My Native Land»(KING RECORDS)、«FLOW»(SPIRAL RECORDS)、また伊藤志宏 (pf) とのデュオ作 »Wavenir»(hummock label) を発表。2019 年、予てから活動を展開していた林正樹 (pf)、西嶋徹 (cb) との FLOW トリオに福盛進也 (dr) が参加し、藤本一馬カルテットを始動。フォークロリックな感性と室内楽の持つ静謐さ湛えたコンテンポラリー・ジャズへ昇華。その他、これまで様々なプロジェクトへの参加、また国内および海外まで多数のアーティストと共演。旋律的でリリカルなギター演奏のアプローチ、ときに野生的なダイナミズムまで、その音楽性は高い評価を獲得している。

maiko

神戸市出身。3 歳からバイオリンを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。ジャズバイオリニスト寺井尚子氏に師事。アシスタントを務めながらジャズ・バイオリンの研さんに励みつつ、2001 年からの 8 年間で 2,000 回を超える圧倒的な数のライブパフォーマンスを行い、独自のジャズスタイルを確立する。第 19 回浅草 Jazz コンテストでベストプレイヤー賞を受賞。2001 年横濱ジャズプロムナード、ライブ・コンペティション本選大会で向井滋春賞を受賞。2009 年 9 月、洗足学園音楽大学ジャズコース非常勤講師に就任。ジャズをベースに幅広いジャンルにおいて、音色の美しさと熱い演奏が身上。コンポーザーとしての才能も高く、歌心あふれるオリジナルナンバーは好評を博している。2015 年 5 月、伴奏者のいない完全なソロバイオリンのライブを敢行、以降ライフワークとして取り組んでいる。

坂井紅介

ハンク・ジョーンズ、ジョー・ヘンダーソン、ヘレン・メリル、ミッシェル・ルグラン、エグベルト・ジスモンチ、スティーブ・ガッド、日野元彦、など世界のジャズ界をリードするミュージシャンと共演。幅広い音楽性で多くのアーティストに招かれ、国内外のユニットに参加。演奏の場は米国や欧州だけでなく、アジア、アフリカにも及ぶ。自己のグループで 1993 年より名古屋芸術創造センター、2000 年にカザルスホールにおいてコンサート。作曲にも才を発揮し、映画、テレビ、舞踏、アーティストのＣＤに作編曲を提供するなど、活動範囲は広い。1997 年 5 月、全曲オリジナルのリーダーアルバム「ＴＲＩＰトリップ」をリリース。現在、自己のグループやソロベース活動の他、土岐英史、などのステージで活躍。横浜在住。